

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成21年1月分）

氏名(国内所属校)：祝迫直子（広島県立高宮高等学校）

現地勤務先：スラウェシ島 ジェネポント県教育局学校外教育課

H20年10月12日～H21年1月16日の出来事，活動の様子

Selamat(スラマツト)

インドネシア語で、「安寧な，安全な，平和な」という意味です。
いろんな言葉と組み合わせるとつかえます。

平成21年1月16日作成 第3号

広島県立高宮高等学校 地理歴史・公民科教諭 祝迫直子

青年海外協力隊（JOCV）

平成20年度 第1次隊

任国 インドネシア

職種 青少年活動

任地スラウェシ島 ジェネポント（Jeneponto）県の様子

広島県の皆さん，^{スラマツト シアン} Selamat siang!（インドネシア語で「こんにちは」

の意味です）。私は広島県立高宮高等学校の祝迫直子です。

平成20年度より現職教員特別参加制度で青年海外協力隊へ参加しています。6月23日にインドネシアへ渡航して，任地ジェネポント県教育局へ8月5日に赴任しました。任地での生活も5ヶ月が過ぎました。

第3号である今回は，ジェネポント県での生活についてお話しします。



JENEPONTO

1 ホームステイ先

私が暮らしている家は、ジェネポント県の教育長の家で，その家の一室を間借りしています。教育長はいくつか家をお持ちなので，普段は一緒に暮らしていませんが，職場で顔を合わすだけでなく，週末はご自宅へ呼んでいただいたり，様々な行事にお声をかけてくださいます。ホームステイ先の同居人は私を含めて5人で，まるで新しい家族のようです。



（私の住む家の外観）



（教育長のご自宅）



（マンディーの水は緑色）

教育長のご自宅はジェネポントの中では大きな家なのですが，一般的にある伝統的な高床式の木の家です。インドネシアは11月から3月が雨季で，今は1日に何度も激しい雨が降り，洪水になることも多いです。普通の家だと家の中に雨水が流れ込むこともあります。また道路のアスファルトがはげて陥没したり，舗装していない道も多いため道路事情がかなり危険になります。4月から10月は乾季で水不足のために農作物ができにくく，電気も不足するため，政府が計画的に停電を実施することが多いです。

ジェネポントの家に来て最初に驚いたことは，水道の水が緑色なことです。インドネシアはお風呂がないため，代わりに朝と夕方にマンディー（水浴び）をします。日本のお湯のお風呂やシャワーが懐かしくなる時もありますが，マンディーはインドネシアの気候や

水事情に合っていると思います。飲料水は沸かした水かミネラルウォーターを買って飲んで
います。

2 主な交通手段



(ベチャ)



(ペテペテ)

インドネシア国内には、自転車の前に荷台をつけたベチャという乗り物がたくさん走っ
ています。主に近距離用で、すぐ近くに用事があるときに乗ります。また、幹線道路等
には乗り合いのミニバスもたくさん走っていて、ペテペテと呼んでいます。夕方日が沈むこ
ろには、どちらの乗り物も営業終了なので、いつも帰る時間を気にしてしまいます。

3 ジェネポント県の主な産業

ジェネポント県は乾季に水不足が深刻な地域であるため、農業生産高は他の地域よりも
低いです。米づくりも雨季のみで年1回だけの収穫です。しかし海に面している県である
ため、漁業が盛んで魚は豊富にあります。また、海藻を作っている人も多く、最近はペッ
トボトルに種つけをしている風景もよくみられます。乾季には、塩田で塩も作っています。



(海藻作り)



(塩田)

そして最も有名であるのが県のシンボルになっている馬です。家の近所にも馬が飼われ
ていて、主に食用で馬産業が成り立っています。馬はインドネシア語で kuda (クダ) と
いい、ジェネポントは飲食店が少ないのですが、coto kuda (チョートークダ) のお店は
何件かあります。中味は馬の内臓のスープです。ジェネポントへ来ると普段の挨拶に加え
て、いろんな人から「もう馬は食べたか？」とよく聞かれます。「食べたよ！」と答える
と誰もが笑顔になり、「馬を食べると体が強くなるんだよ！」と必ず答えてくれます。馬
を誇りに思っている様子が会話の至るところで伺えるのです。値段が高いため、普段の食
卓には出てきませんが、ジェネポントは pesta (パーティー) が多いので、その時はご馳
走として、馬の料理がたくさん出てきます。おかげさまで私は赴任以来、とても元気に暮
らしています。

